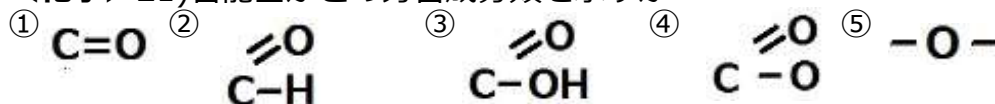


基礎問題 (Basic) <全体>

- 1)アロマセラピーの定義とは？ 2)精油の定義とは？
- 3)学名は、スウェーデンの植物学者リンネが創設したもので、命名規約により、①法で表記される。
①は、属名と種小名で構成され、2つの単語で1つの植物を示します。
- 以下の意味は？ 4)ssp 5)var 6)f. 7)x
- 8)アロマ・アドバイザーコースで学んだ精油の中で、有機溶剤を利用して採られ、アブソリュートと呼ばれる精油は何か？(精油名)
- 9)ヒポクラテスの体質診断で、リンパ質の方に合う精油の芳香成分分類をあげてください
- 10)ブレンドオイルを作る基本的な手順は、(1)品質の確かなケモタイプ精油を入手する
(2)目的にあった精油を選び、①事項や注意事項を確認する(3)使用濃度や基材を考える
(4)ブレンドを作り②を行う
- 11)ある匂い物質が私たちの匂い感覚を引き起こすのに必要な最小量をなんといいか？
- 12)香料を調合する上での香りの調和のことを①
また、調和の取れた香料の処方のこと①が良いという
- 13)成分分析を測定するものは？
- 14)アロマセラピーで使用する精油の条件は、
・植物名(学名)、採油方法、①が明らかであること
・②、残留農薬、屈折率、比重、旋光度について、ロットごとに国内で分析・検査され、結果に問題のないことが確認されており、その結果を公開しているもの
- 15)アロマコロジーとは ①心理学といわれる。香りが心身に及ぼす、②を示すもの
- 16)動植物の香料原料のアルコール抽出液
- 17)芳香植物の持つ芳香分子は、植物の(①)代謝によって作られています。
- 18)脂肪が花の香気成分をよく吸収するという性質を使用した採油方法。室温で採取する冷浸法
- 19)揮発溶剤に花の香りを抽出し得られた溶液から溶媒を除去して得られた口ウ状のもの
- 20)動植物性香料原料から各種溶剤で香気成分を抽出し、これらの溶剤を取り除き濃縮して得られたものの総称
- 21)精油の物理的特徴として①が①以下であるものが多いが、クローブのように1を超える精油もあります。

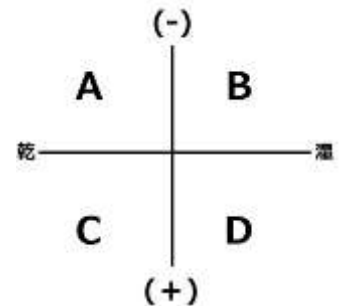
<化学> 21)官能基がどの芳香成分分類を示すか



- 22)精油の化学は①化学です。①化合物は②原子と③原子を基本に構成されます。
- 22)有機化合物の中で一番多く見られるのが①のグループで、①は②で構成されている。
②は③原子が④個、水素原子が⑤個できていて分子式は⑥、分子量は⑦である。"
- 23)分子式が同じで構造式が異なる化合物のこと
- 24)精油の芳香成分の構造には3つの骨格と、
一群の化合物に特有な性質を与える原子団である①の組み合わせにより構成されている。
- 25)芳香族アルデヒドとフェノール類の違いは、①が②的についでいるものが芳香族アルデヒド類
③的についでいるものがフェノール類である。
- 26)カルボン酸の官能基は①で、キャリアオイルに含まれている。
- 27)芳香族は①が主になっていて、炭素原子が②個、水素原子が③個、二重結合が④個つく
- 28)構造式を書く(C Hを略さずに) ①イソプレン ②ベンゼン環 ③脂肪族化合物
- 29)モノテルペンの分子量は？
- 30)次の説明は①テルペン系化合物、②芳香族化合物、③脂肪族化合物かを答える
(1)ベンゼン環をもつ化合物
(2)イソプレン骨格をもつ化合物
(3)チェーンのような形をしている鎖状化合物
(4)ケイ皮アルデヒドはこの化合物に含まれる
(5)微量ではあるが柑橘系に含まれ、柑橘系の香りを特徴づける
- 31)精油の芳香成分には、①水素だけでなく②素を含んだ一団をもつ③の組み合わせで構成
- 32)分子量が①のモノテルペン炭化水素類と比べ、セスキテルペン炭化水素類の分子量は②なので、
後者は揮発性が③です。
- 33)幾何異性体は、C=Cを結んだ線に対して、同じ原子または原子団が同じ側にあるものを
①体、反対側にあるものを②体といいます。③体のほうが一般的に物質本来の香気を表します。
- 34)構造異性体の一つで、官能基が結合する位置や二重結合のいちの違いにより生じる異性体
- 35)①異性体は、立体異性体の一つ。互いに鏡に写したような関係になります。
右回りは②体、左回りは③体である。②カルボンの精油は④、③カルボンの精油は⑤

<精油>

- 1) オレンジスイートの香りを決定付ける成分は、①類のオクタナール・デカナール
- 2) A～Dの精油は、①～⑦作用を選ぶと良いか
精油：A:ヘリクリサム・ペパーミント B:サイプレス・クラリセージ C:ユーカリレモン
D:ラベンダーアングスティフリア・マジョラム
作用：①打撲・捻挫 ②更年期障害のトラブルを軽減 ③虫除け ④シミ・シワ対策
⑤食欲を増進させる ⑥鼻づまり解消 ⑦リラックス
- 3) 下記の学名の精油は、①禁忌とその注意事項の芳香分子名②科名③蒸留部位④座標軸 A～D 位置
A) *Cymbopogon martini* B) *Cinnamomum cassia* C) *Citrus limon*
D) *Rosmarinus officinalis CT campher* E) *Gaultheria procumbens*
F) *Cupressus sempervirens* G) *Eugenia caryophyllus*
- 4) ①ケトン類、②ジテルペンアルコール類、③フェノール類は、
座標軸のどこか？
- 5) レモンの主要成分は①(芳香分子名)、②分子式、③分子量
- 6) ①は、②類のチャビコールメチルエーテルが多いので、
抗アレルギー作用や消化促進がある。
- 7) *Cymbopogon martini* 精油は、①(芳香分子)を多く含む
①は②作用があるため、③の禁忌がある
- 8) クラリセージはジテルペンアルコール類の①を含有するため、
ホルモン依存型癌疾患や乳腺症などに使用してはいけけない
- 9) マジョラムに含まれる主要な含有成分として①類のテルピネン-4 オールや、
②類のγテルピネンやα-テルピネンがあります。
- 10) ①の人は、ウィンターグリーン精油を使用してはいけません。なぜなら②を多く含むため
- 11) カモマイルジャーマンは、ビスボロールオキシド A を多く含むが、この精油の特徴である
青色や、抗炎症作用、抗アレルギー作用を最も顕著に示す含有成分は、①類の②です
- 12) 鎮痛作用がある芳香成分類をあげよ
- 13) 免疫調整作用のある芳香成分類をあげよ
- 14) δ-3-カレンの固有作用は①作用です。これを含む精油は、②です



<植物油・ハーブウォーター>

- 1) キャリアオイルを使用する目的は以下のとおりです
(1) 精油を希釈して、作用を①する
(2) 精油の②を抑えて、③性を高める
(3) キャリアオイルそれ自体のもつ効果を利用する
- 2) 次の説明文に合うハーブウォーターを、下記の中から書きなさい
A: MRSA やガンジダ菌の繁殖抑制に効果的、免疫調整作用が期待できる。禁忌・注意は特に無い
B: ガンジダ菌の繁殖抑制に効果的。保湿作用やお肌の収れん作用、柔軟化作用が期待できる。
キク科アレルギーの方は注意して使用する。
C: 爽やかでスッキリした香り。敏感肌への刺激が強いと感じる場合がある
D: 全草から採れるキク科のアレルギーに注意して使用するハーブウォーター。
神経系への作用が期待でき、かゆみの緩和や炎症を鎮めるためにも良い。

カモマイルジャーマンウォーター、ローズウォーター・ティートゥリーウォーター
ラベンダーウォーター・レモングラスウォーター
カモマイルローマンウォーター・ペパーミントウォーター

- 3) 次の説明文に合うキャリアオイルを書きなさい
A: モロッコのアトラス山脈にだけ自生する高木の種子から採ったオイルで、皮膚再生作用があります。
B: 常温で固体の植物油で、アフリカの強い日差しから肌を守るスキンケアクリームとして
使用されている
C: カプリル酸とカプリン酸で構成されている。酸化しにくく、安定性の高い植物油です。
D: 全てのスキントypesに適していますが、10-15度以下になると固化が始まり、白濁して
固形状に変化します。
E: 単体でも治療目的で使用するオトギリソウ科の植物油。血液流動促進作用がある
F: αリノレン酸を含む、皮膚の再生に大変有効な植物油。ビタミンCを多く含む

解答 <全体>

- 1)植物精油や植物油、ハーブウォーターを用いた、健康管理法及び療法
- 2)芳香植物から抽出した芳香分子の集合体で、成分の添加や除去を一切行っていないもの。
化学的に検証を行い、分類したケモタイプ精油
- 3)①二名 4)ssp：亜種 5)var：変種 6)form：品種 7)×：雑種
- 8)ジャスミン 9)モノテルペン炭化水素類・酸化物類・フェノールメチルエーテル類
- 10)①禁忌 ②パッチテスト 11)閾値 12)アコード 13)ガスクロマトグラフィー
- 14)①採油方法、②芳香成分 15)アロマコロジー：①芳香心理学 ② 16)チンキ 17)①二次
- 18)アンフルラージュ 19)コンクリート 20)アブソリュート 21)比重

<化学> 21)①ケトン類 ②芳香族アルデヒド類 or テルペン系アルデヒド

- ③カルボン酸類 or 脂肪酸 ④エステル類 ⑤酸化物類 or フェノールメチルエーテル類
- 22)①有機 ②炭素 ③水素
- 22)①テルペン系化合物 ②イソプレン ③C ④5 ⑤8 ⑦68
- 23)異性体 24)①官能基
- 25)フェノール類：ベンゼン環に直接的に水酸基（—OH）がつく
芳香族アルコール類：ベンゼン環に間接的に水酸基（—OH）がつく
- 26)①カルボシル基（—COOH） 27)①ベンゼン環 ②6 ③6 ④3
- 28)テキスト参照 29)136
- 30) (1)②、(2)①、(3)③、(4)② (5)③ 31)①炭化(水素) ②酸(素) ③官能基
- 32)①136 ②214 ③遅い 33)①cis ②trans ③cis 34)位置
- 35)①光学(鏡像) ②d (+) ③/ (マイナス) ④キャラウェイ ⑤スペアミント

<精油>

- 1) ①脂肪族アルデヒド類
- 2)A:ヘリクリサム・ペパーミント ①打撲・捻挫
B:サイプレス・クラリセージ ②更年期障害のトラブルを軽減
C:ユーカリレモン ③虫除け
D:ラベンダーアングスティフリア・マジョラム ⑦リラックス
- 3) A)パルマローザ(*Cymbopogon martini*)
①妊婦には使用しない モノテルペンアルコール類のゲラニオール
②イネ科 ③全草(根以外) ④C
B) シナモンカシヤ(*Cinnamomum cassia*)
①芳香族アルデヒド類。皮膚塗布する場合は10%以下に希釈する
②クスノキ科 ③葉付き小枝
C)レモン (*Citrus limon*) ①ラクトン類のフロクマリン類②ミカン科③果皮
E) ウィンターグリーン(*Gaultheria procumbens*) ①エステル類のサリチル酸メチル ②ツツジ科 ③葉付き小枝 ④B
F)サイプレス(*Cupressus sempervirens*)①ジテルペンアルコール類のマノオール。ホルモン依存型癌疾患、乳腺症などに使用しない ③葉付き小枝 ④C
- 4)①A②C,D③
- 5)①d—リモネン、②C₁₀H₁₆、③136
- 6)①バジル ②フェノールメチルエーテル(類)
- 7)①ゲラニオール ②子宮収縮作用 ③妊婦には使用しない
- 8)スクラレオール 9)①モノテルペンアルコール ②モノテルペン炭化水素
- 10)①アスピリンアレルギーの人 ②サリチル酸メチル
- 11)①セスキテルペン炭化水素類(一) ②カマズレン
- 12)テルペン系アルデヒド類・エステル類・フェノールメチルエーテル類
- 13)酸化物類・モノテルペンアルコール類
- 14)①鎮咳 ②サイプレス・ブラックスプルスなど

<植物油・ハーブウォーター>

- 1)①穏やかに ②揮発 ③持続
- 2)A：ラベンダー・ウォーター B:カモマイルジャーマン・ウォーター
C:ペパーミントウォーター D:カモマイルローマン・ウォーター：
- 3)A:アルガン油 B:シアバター C:ファーンナス油 D:ホホバ油 E:カロフィラム油
F：ローズヒップ油